精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ

［演習］　第４学年　前期　選択　1単位

《担当者名》〇奥田　かおり　k-okuda@hoku-iryo-u.ac.jp　　橋本　菊次郎　　向谷地　生良　　鈴木　和

【概　要】
　精神保健福祉分野におけるソーシャルワーカーとしての専門的援助技術およびリハビリテーション技法の基本的な知識・理論を把握した上で、具体的な事例に即してそれを実施できるようになることが目的である。
　精神保健福祉援助実習での体験をもとにして、グループで事例を作成し、面接・グループワーク・SST・心理教育などの実技指導（ロールプレイ等）を行う。

【学修目標】
１．他職種との連携（チームアプローチ）やネットワーキングの方法が理解できる
２．援助に必要な社会資源を活用・調整・開発する方法が理解できる
３．精神保健福祉援助の実践から専門的な支援の視点や在り方が理解できる
４．実習の個人的な体験を一般化し、概念化・理論化できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	精神保健福祉援助実習（実習Ⅰ）の振り返り 本講義の目的と内容説明 （精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰとの関連等についても説明する）	向谷地、橋本、奥田、鈴木
2	精神保健福祉の基盤整備と開発①	アウトリーチについて学ぶ	向谷地、橋本、奥田、鈴木
3	精神保健福祉の基盤整備と開発②	チームアプローチについて学ぶ	向谷地、橋本、奥田、鈴木
4	精神保健福祉の基盤整備と開発③	ケアマネジメント ・当事者主体のケア会議を体験する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
5	精神保健福祉の基盤整備と開発④	ネットワーキングについて学ぶ	向谷地、橋本、奥田、鈴木
6	精神保健福祉の基盤整備と開発⑤	社会資源の活用・調整・開発について理解し、方法を考える。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
7	実習体験の一般化①	プロセスレコードを使って実習体験について振り返り、倫理的ジレンマについて理解する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
8	実習体験の一般化②	プロセスレコードを使って実習体験について振り返り、倫理的ジレンマについて理解する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
9	実習体験の一般化③	プロセスレコードを使って実習体験について振り返り、倫理的ジレンマについて理解する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
10	課題別精神保健福祉援助事例①	個別支援学習で取り上げたケースから精神科リハビリテーションの実際を学ぶ。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
11	課題別精神保健福祉援助事例②	退院支援、地域移行、地域生活継続 ・退院・地域移行向けた当事者主体のケア会議(当事者参加）を体験する。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
12	課題別精神保健福祉援助事例③	実習体験の振り返りから就労支援の現場におけるリハビリテーションや社会参加の方法への理解を深める。	向谷地、橋本、奥田、鈴木
13	実習体験の概念化・理論化①	実習中の利用者との関わりをプレスレコードに記し、そこから援助技法と理論的背景について学習する。グループプレゼンテーションの実施	向谷地、橋本、奥田、鈴木
14	実習体験の概念化・理論化②	実習中の利用者との関わりをプレスレコードに記し、そこから援助技法と理論的背景について学習する。グループプレゼンテーションの実施	向谷地、橋本、奥田、鈴木
15	実習体験の概念化・理論化③	実習体験の総括：実習の学びを振り返り、今後の学習への準備をする。	向谷地、橋本、奥田、鈴木

【授業実施形態】
面接授業
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】
プレゼンテーション（ロールプレイ等）60%
レポート（プロセスレコード含）40%

【教科書】
特になし

【備考】
この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉援助演習（専門）」に該当する

【学修の準備】
プレゼンテーション、ロールプレイ等の準備をする

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】
DP2,1,3,4,5

【実務経験】
向谷地生良（精神保健福祉士）、橋本菊次郎（精神保健福祉士）、奥田かおり（ソーシャルワーカー）、鈴木和（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】
精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な演習を行う。